

社協だより



学校・地域がつながる福祉
～子どもたちと ともに～



井原中学校1年生 × 登録福祉ボランティアグループ“とんとん隊”
令和3年6月24日(木) タブレット用手提げ袋に『デニ山君』をステンシルで絵付け体験。



学校・地域がつながる福祉 子どもたちとともに

これからの社会がどんなに変化しても、子どもたちには、自ら考え、判断して行動する「生きる力」を身に付けて欲しい。家庭で、学校で、地域で、ともに明るい未来を創っていくためには何が必要となってくるのでしょうか。

福祉って自分には関係ないこと？

「福祉」という言葉を聞くと、高齢者や障害者、生活に課題を抱えた人など、弱者への支援だと思われがちです。しかし、福祉とは、『ふだんのくらしをしあわせに』みんなが幸せになるよう取り組む活動です。

何を幸せと思うかは人によってさまざまな感じ方があり、誰もが自分の幸せを願っています。だからこそ、自分の幸せと同じように他の人の幸せも大切にすることが必要です。いろいろな人の違いを認めながら、みんなが自分らしく暮らしていくために、福祉は誰にでも関係する身近なことではないでしょうか。

地域で育まれる力

家庭や学校だけでは身に付けることができない社会のルールやマナーを学ぶ場が地域です。

しかし、社会の変化により、今の子どもたちは、近所の子同士で遊ぶ機会や地域の大人と関わる機会そのものが少なくなっています。さまざまな世代の人と関わることで、コミュニケーション能力を高め、思いやりの心や相手を理解しようとする豊かな心が育まれます。また、自分と違う立場の人を認める、自分の考えを表現する、考えを共有し実行につなげる力を身に付けることが「生きる力」につながっていくと考えます。



ともに生きる

子どもたちが地域の人に大切に思われていることを実感できる経験、自分が社会の役に立つことを実感する経験など、さまざまな体験や交流から子どもたちの自己肯定感や自己有用感が育まれることになります。また、自分はかけがえない大切な存在だと気づき、同じように周りの人も大切に思うことで、支え合える住み良い社会をつくっていくことにつながるのではないのでしょうか。

子どもたちの「ために」するのではなく、子どもたちと「ともに」大人も自ら育っていく。子どもたちの成長が大人の成長を促し、地域の絆を強めていくことにもつながっていくのかもしれない。子

どもたちは地域の宝です。ともに明るい未来をめざしていきましょう。

地域の一員として、思いを行動に…

市内21の小中高等学校では、児童・生徒のボランティア活動普及事業として、各校独自の福祉活動を実施しています。

コロナ禍でボランティアをする機会が少なくなっている中、形を変えたり、感染対策をしたり、できることをできる形で、自分たちで考え工夫し活動しています。

誰かのために何かをしたい！大事な《福祉の第一歩》です。



思いを込めた贈り物

【県立井原高等学校】

コロナ禍で高齢者施設を訪問し交流することが難しかったため、入所者の方に喜んでいただけるプゼントをしようと企画し、香り袋の製作をしました。安眠・リラックス効果のある力モミールを使い、それぞれの思いを込めたメッセージカードを添えてお渡ししました。



地域を盛り上げよう

【木之子中学校】

木之子地区振興協議会と一緒に、クリスマスイベントのイルミネーションの飾りつけや、ツリーの背景を制作しました。地域の行事に主体的に参加することで、地域へ貢献するとともに、地域の一員としての所属感を高めることができます。



ボランティア感謝会

【青野小学校】

登下校時、安全に通学できるよう見守り声掛けをしてくださっている青色防犯パトロール隊の方々と屋外で交流しました。普段、自分たちが地域の中で大切に思われていることを実感し、自分たちにも何かできないかと考え、心を込めた手紙と言葉で感謝の思いを伝えました。



心育む『ココイク』講座

市内の小中高等学校を対象に、ゲストティーチャー・ボランティア・社協職員が、次のような出前講座を実施します。

- ・ボランティア講演会
- ・福祉啓発劇の公演
- ・認知症サポーター養成講座
- ・車いす体験・高齢者疑似体験
- ・もしもに備えた防災教室
- ・避難所運営ゲーム「HUG」
- ・赤羽根力フェとの交流
- ・学校と地域の共同イベント

などなど…

学校オリジナルの講座を実施することも可能です。総合的学習の授業、PTAの事業等で、福祉に関わることをしてみようかなあという時には、ぜひ市社協にご相談ください！



芳井 地区社会福祉協議会

地区社協紹介 No.2

① ずばり！我が地区はこんなところ

人間味あふれ、自然豊かで癒されるまち

② 地区での活動

- ・一人暮らしの高齢者へ配食
 - ・三世代交流のしめ縄づくり
 - ・高齢者宅の見守り活動
 - ・子どもたちの居場所づくりのふれあい食堂（つなぎ）
 - ・子どもたちとお弁当づくり
 - ・福祉講演会（福祉委員、民生委員、地区社協役員など）
- ※コロナ禍により現在休止中の活動があります。

③ 活動への思い

お互いさまという気持ちを持って、地域の身近な窓口になれる社協でありたい

④ こんな地区を目指します！

ささえあいの輪が広がり、
みんなが楽しく暮らせる地区

地区人口：3,180名

（令和3年5月末）

福祉員人数：82名

サロン数：8サロン



〈モットー〉
くよくよせず
できることを一生懸命

芳井地区社会福祉協議会
会長 池田 孝江 さん

《Profile》

- ・1947年1月井原町中町生まれ
- ・趣味は、油絵、ステンドグラス、楽器演奏など
- ・岡山県愛育委員連合会理事、井原市民生委員・児童委員を務め、2019年から芳井地区社会福祉協議会会長に就任

NEW

赤い羽根共同募金

笑顔を大切に！

誰もが泳ぐよろこびを

重度の心身障害者は、学校を卒業すると普段の生活の中で運動する機会が少なくなります。

そこで、さらなる身体機能の低下などを防ぐために、プールを利用して身体に過度な負担をかけずにできる「ハロウィック水泳」があります。マンツーマンで浮き具を使わず、必要最小限の介助で本人の持っている力を活かして、何より楽しく行うというものです。

プール活動を通して、ふれあうことの大切さを感じる機会になり、講師やボランティアなど、家族以外の人と接することにも慣れ

ていきます。

さらに、市内の施設を利用することは地域の人も障害に対する理解を深めてもらうきっかけとなり、ボランティアの養成にもつなげていきたいと考えています。

赤い羽根共同募金は、「自分のまちを良くするしくみ」として、このような様々な活動に役立てられています。

赤い羽根共同募金「誰もが泳ぐよろこびを」

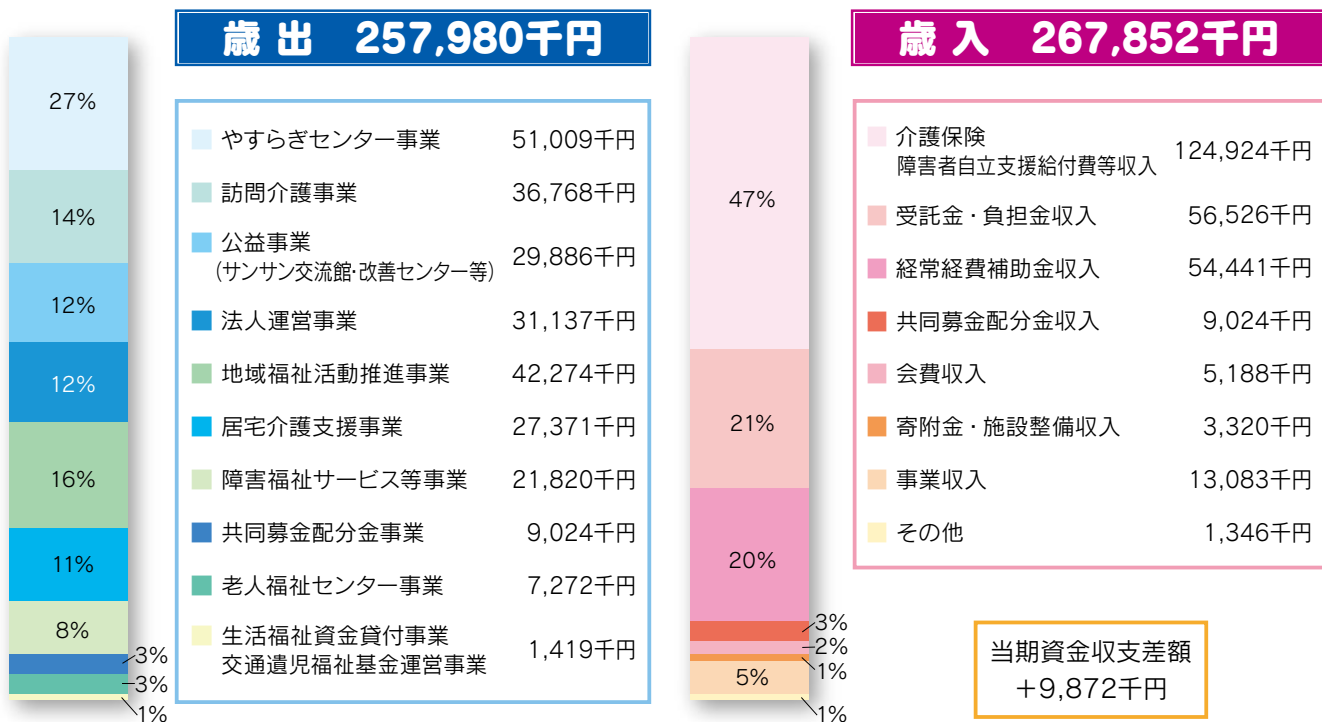
日時：毎月第4水曜日 11時～12時ごろ
場所：井原市芳井健康増進福祉施設「あすわ」
対象：市内在住の重症心身障害者と家族
年齢：18歳以上

※コロナ禍のため、中止になる場合があります。



令和2年度 事業報告・決算

新型コロナウイルス感染症拡大による岡山県の緊急事態宣言発出に伴い、理事会は書面決議にて行い、6月22日（火）に評議員会を開催し、令和2年度の事業報告及び収支決算などが承認されました。



【ふれあい・たすけあい・ささえあいのまちづくり事業】

事業名	事業内容	事業名	事業内容
地域福祉活動推進事業	ふれあいのまちづくり推進事業 地区社会福祉協議会活動の充実 ふれあい・いきいきサロン活動の充実 ご近所福祉ネットワーク活動の充実 はーとふるカプセル事業 ふれあい福祉相談事業 日常生活自立支援事業 I♡エチケットできるプロジェクト（マスク事業） ボランティアセンター事業 災害ボランティア研修会の開催 支える人を支えよう！事業（児童クラブを応援） 日常生活用具貸与事業 チャイルドシート等の短期貸出事業 手話奉仕員養成講座の開催 等	共同募金配分金事業	まちづくり福祉活動助成事業 ボランティア協力校への助成事業 ボランティア推進団体・福祉施設・福祉団体助成事業 井原市社会福祉大会開催 ありがとう！ご近所サミット in tiiki 笑顔あふれる地域へ！ シトラスリボンプロジェクト事業 ひきこもりほっとけん事業 心育む「ココイク」講座実施 認知症サポーター養成講座実施 あまびえバッジづくり事業 トントン！と〜とバッグプロジェクト事業 「赤羽根工コ」シリーズ事業 今だからこそ！自宅のできる MYサロン♡いきいき活動事業 社協だより年6回発行 等

【介護保険・障害福祉・その他運営事業等】

事業名	事業内容	事業名	事業内容
訪問介護事業	ホームヘルプサービス活動	障害者相談支援センター事業	個別相談等の実施
居宅介護支援事業	要介護認定訪問調査 居宅介護支援事業活動	いばらサンサン交流館事業	小田川大学開催 三世代交流事業開催 各種教室開催
やすらぎセンター事業	生きがい活動支援通所事業 通所介護事業	その他運営事業	井原市老人福祉センターの運営 すばーく美星の運営 美星農村環境改善センター等の運営
障害福祉サービス事業	井原あゆみ園事業 (児童発達支援・放課後等デイサービス) 障害者相談支援事業		

◇香典返し・満中陰志

亡夫 七日市町 藤代絹恵
亡妻 東江原町 森山昌樹
亡妻 木之子町 今井正彦
亡妹 西方町 北田典子
亡夫 岩倉町 水谷裕美
亡母 大江町 平本達夫
亡妹 井原町 谷 義治
亡母 芳井町上嶋 守屋芳典
亡子 芳井町西三原 田中昭治
亡母 美星町西水砂 鷹家 勝
亡父 美星町黒忠 山木 一郎
亡父 美星町黒忠 安達康雅
亡母 美星町宇谷 定家健治
亡父 美星町大倉 廣谷安司
亡父 美星町西水砂 瀬尾良典

◇一般寄附

芳井町築瀬 小谷泰夫
美星町 出前チーム
美星町星田 山本浩造

◇福祉用具のお礼

お寄附ありがとうございました
令和3年4月16日～令和3年6月15日（敬称略）

ベッド・車椅子・チャイルドシートの貸し出しをしています！

【短期】《無料》

種類	貸出期間	対象
チャイルドシート	3か月以内	井原市内 在住在勤 の方
ベビーカー		
車椅子	2週間以内	

【長期】

種類	管理料(月額)	対象
電動ベッド	500円	井原市内の高齢者、障害者、 傷病等で在宅生活を行って いる方 ※介護保険制度による 要介護2～5の方は対象外
手動ベッド	300円	
車椅子	300円	

※チャイルドシートは返却時にクリーニングが必要となり、料金は自己負担です。

※ベッド・車椅子の管理料は1年ごとの後払いで、ゆうちょ銀行での振込みが可能です。振込手数料は自己負担です。



～夏のボランティア体験事業

中止のお知らせ～

市内の中学生・高校生を対象として実施している「夏のボランティア体験事業」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

～居宅介護支援事業所からのお知らせ～

井原市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所と芳井指定居宅介護支援事業所はひとつになりました。
介護に関することは、お気軽にご相談ください。

井原市井原町1110
井原市総合福祉センター内
TEL: 62-6540 FAX: 62-1968



ふれあい福祉相談センター

【予約先】井原市社会福祉協議会 ☎62-1484

相談	内容	日時
ふれあい福祉相談	日常生活上の心配ごとや悩みごと等の相談	月～金曜日 8:30～17:00
法律相談 要予約	法律上の難しい問題の相談 1件30分以内 (財産・相続・金銭貸借・境界問題等) ～新型コロナウイルス感染の拡大状況により、中止する場合があります～	7/27 (火) 13:00～16:00 8/10 (火) 13:00～16:00 8/24 (火) 13:00～16:00 9/ 7 (火) 10:00～15:00
ひきこもり 専門相談 要予約	専門家によるひきこもりに関する相談 ～新型コロナウイルス感染の拡大状況により、中止する場合があります～	7/28 (水) 10:00～12:00 8/25 (水)
療育相談	就学前の子どもへの心配や悩みごとに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
介護相談	家庭介護や各種福祉サービスに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
金銭管理等 支援相談	福祉サービスの利用や日々のお金のやりとりの不安や悩みの相談	月～金曜日 8:30～17:00
福祉貸付相談	世帯の生活の安定を図るための資金貸付の相談	月～金曜日 8:30～17:00

※相談は無料で秘密は厳守します。

(祝日は除く)